

PDX モデルを用いたがん悪液質の本態解明に関する研究

1. 研究の対象

「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 葛西秀俊）」にご同意いただき、PDX 株が樹立できた患者さんのうち、悪液質状態を呈する PDX 株 12 株（肺がん、乳がん、悪性胸膜中皮腫、腺様嚢胞がん、脂肪肉腫、卵巣がん）と、悪液質状態を呈さなかった PDX 株 6 株（肺がん、卵巣がん）が対象となります。

2. 研究目的・方法

がん悪液質は体重の減少、筋肉量の著しい低下、食思不振を伴う疾患であり、がん患者さんの 80%に認められます。現在もがん悪液質の原因は不明であり、かつ治療薬のない病態です。この研究では患者さんのがんに近いマウスモデルと考えられている、患者腫瘍移植モデル（PDX モデル）を用いて、がん悪液質の機構解明、治療法を開発することを目的とします。また、PDX モデルを用いて明らかとなった悪液質に関連する因子を、実際の患者さんで探索するため、国立がん研究センターバイオバンクに保管された血液試料並びに診療残余血清を用い、悪液質に関連する因子（サイトカインやケモカイン、グレリンシグナル）の測定、質量分析装置によるメタボローム解析を行います。なお、本研究は東京慈恵会医科大学、信州大学、慶應義塾大学との共同研究のもと行われます。

研究実施期間：研究許可日～2027 年 03 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 葛西秀俊）」において樹立された PDX 株、PDX 株をご提供いただいた患者さんのバイオバンクに保管された血液試料（血漿）、診療残余血清

情報：「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 葛西秀俊）」において収集された、腫瘍の情報（ステージ、がん種など）、身体所見、血液検査、画像検査の結果、治療の効果など

4. 外部への試料・情報の提供

国立がん研究センターと各共同研究機関への試料と情報の提供は匿名化した状態で行われ、特定の関係者以外が情報にアクセスできない状態で行います。国立がん研究センターから各共同研究機関へ提供された試料と情報をもとに、各共同研究機関で解析を実施し、共同研究機関内で共有されます。対応表は、国立がん研究センターで保管・管理します。

5. 研究組織

国立がん研究センター研究所 動物実験施設	葛西 秀俊
	坂井 祐介
	中野 愛理
国立がん研究センター研究所 創薬標的・シーズ探索部門	竹下 文隆
国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科	吉田 達哉
国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科	渡邊 俊一
	吉田 幸弘
国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科	石川 光也
国立がん研究センター中央病院 乳腺外科	高山 伸
国立がん研究センター中央病院 臨床検査科	松井 啓隆
東京慈恵会医科大学 医学部 疼痛制御研究講座	上園 保仁
	野中 美希
	宮野 加奈子
東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座	近藤 一博
	岡 直美
信州大学医学部 分子病態学教室	細田 洋司
慶應義塾大学 先端生命科学研究所	杉本 昌弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究代表者・責任者）：

国立がん研究センター研究所 動物実験施設 葛西 秀俊
104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
03-3542-2511